

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

1 健康で長生きできる社会の実現

大北医療圏の中核機能を担う市立大町総合病院は、新改革プランに基づく経営健全化の取組みを着実に進め、経常収支の黒字化を図ります。また、高齢化が進む地域の医療ニーズに応えるため、急性期から慢性期までの病床機能を持つ多機能型病院として、体制整備を進めるとともに、周産期、小児医療を堅持し、地域医療を支えます。

市民の健康づくりでは、全てのライフステージにおいて、きめ細かな保健指導や健康増進活動を推進し、高齢者に対し、地域の担い手として生きがいを持って活躍する場を提供して、健康長寿社会の実現を目指します。

【市立大町総合病院 新改革プランに基づく経営改善】

具体的な施策	内 容	担当課
抜本的な経営改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的な医師確保対策による医師の増員 ○ 病床機能に応じた効率的な受入れによる患者数の増加 ○ 各部署等の改善目標達成に向けたPDCAサイクルの徹底 ○ 健診業務等の充実による収益増への取組み強化 ○ 業務の効率化による人員と人件費の抑制 ○ 計画的かつ最小限の施設、器械整備と材料費等の節減 ○ 許可病床数の削減による病院規模の適正化 ○ 経営改善推進チームの設置や業務改善による収益確保とコスト削減 ○ 広域的な構成による病院運営に関する検討組織の設置 	大町病院
経営形態の見直しとネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方独立行政法人等、柔軟で自律性の高い経営形態の早期検討 ○ 近隣病院や高度医療機関との連携強化と役割分担の推進 ○ 地域医療連携推進法人化の検討 	

【地域に密着した医療の提供】

具体的な施策	内 容	担当課
地域ニーズに応じた質の高い医療提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合診療、病床機能等、高齢化に対応した医療提供体制の充実 ○ 二次救急医療提供の堅持 ○ 周産期、小児医療提供の堅持 ○ 訪問診療や訪問看護等による在宅医療提供の充実 ○ 地域包括ケアシステムの構築に向けた福祉保健分野との連携の強化 	大町病院

◎ 臨床研修の充実	<input type="checkbox"/> 信大附属病院総合診療科と連携した臨床研修の拡充 <input type="checkbox"/> 初期・後期臨床研修医の確保 <input type="checkbox"/> 信州大学医学部の研修医・実習生受入態勢の整備	大町病院
保健福祉事業の充実	<input type="checkbox"/> 発達障がい児、介護予防事業への支援 <input type="checkbox"/> 健診センターの充実	
◎ 認定看護師等の充実	<input type="checkbox"/> 各種認定看護師等の資格取得を勧奨、研修会への参加	
◎ 職員の能力向上	<input type="checkbox"/> 院内研修の充実	

【安心して受けられる医療の確保】

具体的な施策	内 容	担当課
かかりつけ医制度の普及	<input type="checkbox"/> かかりつけの医科・歯科・薬局の普及啓発と、情報共有による市民の健康増進 <input type="checkbox"/> 開業医の後継者対策の検討	市民課
持続可能な医療保険制度の確保	<input type="checkbox"/> 国民健康保険、後期高齢者医療に係る収納率の向上と保健事業の充実 <input type="checkbox"/> 医療費適正化による健全運営の堅持	
医療費負担の軽減	<input type="checkbox"/> 障がい者等の医療機関での保険診療における窓口負担額の一部給付の実施	
過疎地域の医療確保	<input type="checkbox"/> 診療所の継続的な医師確保と医療機器の整備 <input type="checkbox"/> 医療提供体制確保のための交通弱者に対する地域振興車両等による診療所への送迎	市民課 八坂支所 美麻支所

【健康づくりの推進】

具体的な施策	内 容	担当課
生活習慣病発症・重症化予防の推進	<input type="checkbox"/> 特定健診の受診率向上と保健指導の充実 <input type="checkbox"/> 生活習慣病の重症化予防の充実 <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた保健指導の推進 <input type="checkbox"/> がん検診の充実 <input type="checkbox"/> 健康づくり活動等への支援と積極的な情報提供 <input type="checkbox"/> 乳幼児期からの適正な生活習慣の確立の支援	市民課
◎ 母子保健の充実	<input type="checkbox"/> 健やかな成長・発達を支援 <input type="checkbox"/> 育児力向上のための学習機会の充実 <input type="checkbox"/> 妊産婦・乳幼児の健康の保持増進のための健診や相談等の充実	

◎ こころの健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ こころの健康に関する正しい知識の普及・啓発の推進 ○ こころの不調に気づき、相談支援につなげる人の育成 ○ 相談窓口の周知と充実 ○ 関係機関との連携強化 	市 民 課
◎ 健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で健康づくり活動を担う健康づくり推進員の育成 	
◎ 自ら取り組む健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康を守るための自己管理能力を身につけるための支援 	

【高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築】

具体的な施策	内 容	担当課
生活支援態勢の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の状況に応じた多様なニーズに対応できるサービスの充実 ○ 住民ニーズ、地域資源の発掘とマッチング 	福 祉 課
介護予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が生活に目標を持ち、いきいきと暮らせる多彩な介護予防事業の展開と既存サービスの一層の充実 ○ 地域での通いの場となる公共施設等を利用したサロンや各種教室の定期的な開催 ○ 介護予防事業者に対する運営支援の検討 	
◎ 認知症施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症になっても地域で暮らし続けられる、支える人材の育成と家族支援の強化 	
高齢者の権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢期に安心して安全に生活できる態勢の構築 ○ 成年後見支援センターとの連携と活用 ○ 高齢者を地域で見守る地域ネットワークの充実 	
医療・介護の連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多職種が連携し必要な支援やサービスの提供が円滑に提供できる地域づくり 	
◎ いいまちおおまちサポーターの養成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症の正しい理解を促進するためのボランティア（認知症サポーター）の育成と、認知症の人やその家族の支援 ○ 地域で行う体操教室の運営補助や介護予防の普及啓発を行うたいそうサポーターの育成 	
◎ 複合教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の公共施設等での体操や認知症予防、栄養改善や口腔ケアに関する教室の開催と、住民主体の通いの場の創出 	
◎ 生活支援コーディネーター（協議体）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活でのニーズや地域毎の住民活動、民間サービス等の地域資源についての調査など、ニーズとサービスのコーディネートの実施 	

◎ 自主活動団体育成事業	○ 自助、互助を推進する地域での通いの場、見守りの場として定期的にサロン等を開設する団体への支援	福 祉 課
--------------	--	-------

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	備 考
大町病院入院患者数	162人	190人	1日当たり
大町病院常勤医師数	17人	20人	
大町病院経常収支比率	91.5%	100%	
大町病院人件費対医業収益比率	73.7%	63%	
国民健康保険税収納率（現年課税分）	94.9%	96.5%	
後期高齢者医療保険料収納率 （現年課税普通徴収）	98.8%	99.4%	
特定健診受診率	45.6%	60%	
特定保健指導実施率	50.0%	60%	
胃・大腸・肺がんの検診受診率	—	40%	
子宮頸・乳がんの検診受診率	—	50%	
地域で通いの場を開催する団体数	11団体	30団体	
地域介護予防教室の参加人数（延数）	2,378人	3,000人	
いいまちおおまちサポーターの育成	398人	450人	

目標実現の条件

- ・大町病院における常勤医師数の確保、信州大学医学部総合診療科との連携継続

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
医療提供体制の充実に満足していると思う市民の割合	54.1 %	70 %
健康診断などの保健サービスに満足していると思う市民の割合	81.8 %	85 %
高齢者介護・介護保険サービスに満足していると思う市民の割合	57.2 %	70 %

○関連する個別計画

市立大町総合病院 新改革プラン、大町市特定健康診査等実施計画、大町市データヘルス計画、大町市健康増進計画、大町市食育推進計画、大町市地域福祉計画、大町市老人福祉計画、大町市過疎地域自立促進計画

2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進

子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、誰もが地域の中でいきいきと自立した生活が送れることを目指して、地域における様々な活動や地域サービスを組み合わせて、共に生き、支えあう社会を実現する、いわゆる地域福祉を推進します。

また、障がいを持つ皆さんが自分らしく住み慣れた地域で暮らすことができるよう、住民全体で「障がいのある人も地域の中で普通の暮らしができる社会に」という理念を共有できるよう啓発するとともに、支援・相談態勢の充実や様々な機会を捉えた社会参加の促進、当事者の権利擁護を支えています。

【地域福祉の推進】

具体的な施策	内 容	担当課
地域福祉意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民が支える地域福祉に対する市民意識の高揚 ○ 住民が参加し協働する交流の場の創出と支援 	福 祉 課
◎ 民間社会福祉団体の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉法人、NPO等の育成・支援 ○ 社会福祉協議会の組織体制の充実強化 	
◎ ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアセンターの充実強化 ○ 市民ニーズに応じた様々なボランティア活動の発掘、育成と有償ボランティア制度の活用 ○ ボランティアへの活動の場の提供 	
◎ 民生児童委員の活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生児童委員との連携強化と活動支援 ○ 地域ケア会議等支援会議への民生児童委員の参加 	
◎ 多様な福祉ニーズに対応できる福祉人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援コーディネーターの配置 ○ 福祉従事者、各種専門研修の支援 	
地域福祉活動拠点の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合福祉センターの効果的・効率的な運営 ○ 集会所や公園、公民館などの既存のコミュニティ施設の積極的な活用 	
◎ 小地域福祉ネットワーク活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 要援護者一人ひとりに近隣の人びとが見守り活動や援助活動を展開する小地域ネットワーク活動の推進と拡大 	
◎ 有償ボランティア制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者や障がいのある方、産前産後の方などの買い物や家事、ゴミ出しなどの生活支援を行う有償ボランティア制度の構築 	
◎ 民生児童委員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民生児童委員が関係機関と連携して適切な支援に結び付けるための研修の充実 	

災害時支援態勢の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時要援護者の把握と災害時要援護者名簿の整備 ○ 災害時要援護者情報の管理・共有態勢の整備 ○ 災害時住民支え合いマップの作成 ○ 災害時ボランティアの養成と態勢整備 	福祉課 消防防災課
------------	---	--------------

【障がい者福祉の推進】

具体的な施策	内 容	担当課
障がい者への理解の促進と支援制度の普及	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者団体等との懇談会の開催 ○ 障害者虐待防止法、障害者差別解消法の普及啓発と障がい者の権利擁護 ○ 北アルプス成年後見支援センターと連携した成年後見制度の周知と活用 ○ 支援制度の周知と適切な支援の提供 	福祉課
住み慣れた地域で暮らすための支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大北圏域自立相談支援センターと連携した障がい者の相談支援 ○ 地域生活を支援するための地域生活支援態勢の整備 ○ 生活の利便性の向上と社会参加の推進 ○ 就労継続の支援 ○ スポーツ大会や文化活動への参加支援 	
◎ ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉協議会のボランティア講座の実習の場としての、障がい者の余暇活動支援事業の活用 	

【生活困窮者への支援の推進】

具体的な施策	内 容	担当課
生活保護制度の適正運用と生活困窮者の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会保障の最後のセーフティーネット、生活保護制度の適正な運用と自立を目指す就労支援 ○ 生活保護に至らない生活困窮者の相談や就労支援による生活困窮脱却への支援 	福祉課
◎相談支援員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活困窮者自立相談支援事業の主任相談員、就労相談員の育成、研修 	

【生きがい対策の充実】

具体的な施策	内 容	担当課
老人クラブの活動支援	○ 生きがいと健康づくり、生活を豊かにする活動の支援と、高齢者の生きがい対策の中核組織としての機能への支援	福 祉 課
◎ 就業機会の充実	○ 高齢者の豊かな知識・経験・技能を生かした活動の場の確保と、社会貢献や地域の活性化への参加支援	
より豊かな高齢社会の形成	○ ボランティア活動や地域活動への参加機会の確保と、充実した高齢社会の形成	
◎ 学習機会の充実と社会参加の促進	○ 生涯学習との連携による社会貢献・地域参画に必要な学習交流の機会づくり	

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	備 考
小地域福祉ネットワーク数	46 地区	58 地区	年度末数値
災害時住民支え合いマップの作成団体数	23 地区	35 地区	//
総合福祉センター利用者数	19,000 人	21,000 人	//
グループホームの利用者数	48 人	57 人	//
障害者支援施設入所者数	36 人	32 人	//
授産施設の障がい者利用者数	22 人	30 人	//
生活保護世帯数	146 世帯	140 世帯	//
生活保護者数	173 人	165 人	//
生活保護法に基づく授産施設利用者数	30 人	35 人	//
老人クラブ会員数	1,849 人	2,000 人	

目標実現の条件

- ・自治会活動、地域の担い手、支え合い意識等の維持
- ・有効求人倍率の現状維持

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
地域住民が支える地域福祉への市民の意識の高まっていると思う市民の割合	17.3 %	50 %
生活困窮者に対して適正な生活援護がなされていると思う市民の割合	47.1 %	55 %
自立支援などの障がい者福祉サービスに満足していると思う市民の割合	53.0 %	65 %

○関連する個別計画

大町市地域福祉計画、大町市障害者計画、大町市障害福祉計画、大町市老人福祉計画

3 結婚・出産・子育て支援の充実

少子化の進行や核家族化、両親の共働きなど、子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化し、子育てに対する負担感や不安感が高まっており、子育て支援のあり方についてもこうした変化に即した対応が求められています。子どもを安心して産み育てるためには、行政だけでなく企業の協力が必要です。そして、様々な事例に対応できるよう、産科医療機関・助産院・NPO等、子育てに係る関係者全てが連携し、妊娠から子育てまで切れ目のない相談・支援態勢の構築を図ります。

また、子育て家庭のニーズを把握し、幼稚園・認定こども園等の保育態勢の充実を図るとともに、子どもへの虐待や育児放棄などが社会問題となっているため、保健、医療、福祉分野や幼稚園、保育園、学校との連携により、児童の人権保護に努めます。

【結婚支援の充実】

具体的な施策	内 容	担当課
◎ 結婚支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内3団体の結婚相談所との連携による結婚支援の充実 ○ 結婚の希望を実現するための、若者の意見を取り入れた若者交流事業の実施 ○ 市内事業所が連携した出会いの場の創出イベント等の開催による結婚支援 	まちづくり交流課

【妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援】

具体的な施策	内 容	担当課
◎ 妊娠・出産・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠・出産・子育てにおける育児不安の軽減を図る支援の充実 ○ 子育てに係る関係機関や企業との協力・連携態勢の構築 ○ 地域の力を活用して育児を応援する取組みの支援 	市民課 子育て支援課

【子育て支援の充実】

具体的な施策	内 容	担当課
児童センター・子育て支援センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの居場所の確保 ○ 親子の集いの広場など育児、子育て支援の推進 ○ 子育ての総合相談の実施 ○ 母子保健、子育て支援の一体的な施設整備の検討 	子育て支援課

◎ 放課後児童クラブの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後における児童の健全育成の推進 ○ 開所時間の延長や適正な利用者負担のあり方の検討 ○ 支援員の確保と人材育成 	子育て支援課
◎ 子育てのための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てと仕事が両立できる環境整備の促進 ○ ファミリー・サポート・センターの充実 ○ ファミリー・サポート・センターの協力会員の確保と人材育成 ○ 子どもが地域で安心して遊べる場所の整備と充実 	
多様な相談事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健・福祉・学校教育等との連携による相談の充実 ○ 出産後の地域での身近な相談態勢の充実 	
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出産祝金、児童手当、育児家庭応援地域商品券等の給付 ○ 子どもの貧困の実態の把握と支援の充実 ○ 中学校3年生までの医療機関での保険診療における窓口負担額の一部給付の実施 	子育て支援課 市 民 課
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童扶養手当の支給 ○ 関係機関との連携による自立に向けた就労支援の推進 	子育て支援課
発達障がい児への継続的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健、医療、福祉等との連携による発達障がい児等の育児、幼児教育相談の充実 ○ 発達障がい児の早期発見と療育の充実 ○ 発達障がい児に必要な保育環境の整備 ○ 児童の発達を支援する人材の育成、受け入れ態勢の整備 	
心身障がい児教育相談の充実（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係部署、機関と連携した発達障がい児の早期発見・早期把握 ○ 教育相談委員会の充実 	
子どもへの虐待の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虐待の早期発見と適切な保護の実施 ○ 要保護児童対策地域協議会による要保護児童への適切な支援 	学校教育課
保育機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 延長保育、低年齢児保育、障がい児保育、休日保育等の保育機能の充実 ○ 未就園児に対する一時保育、園開放の実施 ○ 地域子育て支援センター機能の充実 ○ 適正な保育園配置、保育機能、保育態勢等の検討 ○ 病児保育と病後児保育の実施 	
保育園と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種行事への地域自治会、老人クラブなどの参加の促進 ○ 園の運営への各種ボランティアの受入れ 	

保育施設の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化の進行等に対応した施設のあり方の検討 ○ 保育施設の適正な維持管理 	子育て支援課
幼稚園・認定こども園との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育園と幼稚園・認定こども園の連携による子育て支援態勢の充実 ○ 施設型給付費等による幼稚園・認定こども園を運営する法人等への支援 ○ 国が進める幼児教育の段階的無償化により保護者の負担軽減の支援 ○ 県補助金を活用した認可外保育所への支援 	
◎ 子育て学習の機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館や保育園、児童センター、保健センター等の連携強化による親子教室、育児学級の一層の充実 ○ ブックスタートや読み聞かせ等0歳からの教育の推奨 	生涯学習課 市民課
◎ 地域の子育て支援環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者相互のつながりを築くことができる家庭教育支援の充実 ○ 子育て支援態勢の整備と支援組織の連携の促進 ○ 日常的に集まることができる場の確保と地域のボランティア等の養成による地域で子どもを育てる気運の醸成 	
◎ 体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活体験、異年齢交流、自然などと触れ合う場など様々な体験ができる機会の提供 ○ 単位子ども会での体験活動の場の充実と支援 	

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	備 考
30代未婚率	37.4 %	30 %	
出生数	166 人	180 人	

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
保育などの子育て支援サービスに満足していると思う市民の割合	57.7 %	75 %

○関連する個別計画

<p>大町市健康増進計画、大町市食育推進計画、子ども・子育て支援事業計画、大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画</p>

4 市民生活の安全の確保

近年、全国で大災害が頻繁に発生する中、本市においても神城断層地震や集中豪雨による土砂災害などの自然災害が発生しています。

神城断層地震の教訓や過去の災害経験等を踏まえ、地域防災力の向上や既存建築物の耐震性能の向上を図り災害等による被害を最小限度に抑えるとともに、犯罪などから市民の生命や財産を守り、安全に暮らせる社会の実現を目指します。

また、子どもと高齢者の交通事故が増加していることから、警察署、交通安全指導員、交通安全協会等が連携し、交通事故防止に取り組むとともに、複雑・多様化する消費生活や特殊詐欺等に関する相談・助言等を一元的、総合的に行うなど市民の暮らしを守ります。

【災害に対する市民生活の安全の確保】

具体的な施策	内 容	担当課
防災・減災態勢の充実及び強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上位計画の変更や地域情勢に配慮した地域防災計画と水防計画の見直し ○ 地域防災計画に基づく、施策・事業の推進と実効性のあるマニュアルの作成と普及 ○ 大規模災害に備え、業務継続計画の見直しと推進 ○ 地域主体による避難所運営マニュアル等の整備 ○ 民間企業等との協定締結等による連携強化 ○ 民間施設等の避難所としての活用の検討 ○ 実効性のある地震総合防災訓練等の実施 ○ 災害時に必要な防災資機材の備蓄 	消防防災課
情報収集・伝達手段の充実及び強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象庁や国土交通省等からの情報収集と、その情報を活用した市民への迅速な情報発信 ○ ケーブルテレビ等のメディアを活用した情報発信の強化 ○ 同報系防災行政無線、緊急メール等の既存情報伝達手段の有効活用による市民への迅速かつ正確な情報の発信 ○ 移動系防災行政無線更新の検討 	
◎ 地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災会組織率の向上と強化 ○ 自主防災会の防災資機材整備や訓練・研修等への支援 ○ 地域防災活動リーダーの育成 ○ 避難行動要支援者名簿の普及と活用 ○ 住民参加型訓練等の実施 	

<p>消防団の充実及び強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントや広報誌等を通じた消防団活動の理解促進 ○ 消防団協力事業所の拡大や事業主への協力依頼による消防団活動の環境整備 ○ 自治会・自主防災会、事業所等の協力による消防団員の加入促進 ○ 女性消防団員の加入促進と機能別消防団の創設 ○ 救命講習や資機材取扱、ポンプ操法等の教育訓練と研修会等への積極的な参加による消防団員の安全確保、技術向上の推進 ○ 消防団車両や車庫の更新と消防団装備基準に沿った装備の充実 ○ 家庭防災の日や年末警戒等での火災予防の啓発 ○ 常備消防との連携強化 	<p>消防防災課</p>
<p>雪害対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雪害による地域経済活動の停滞防止と、市民の生活環境の維持向上のための関係機関との連携による対策の強化 	
<p>地域の防犯態勢の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会における防犯灯の設置と維持管理への支援 ○ 防犯協会等による見回りと街頭指導の実施 ○ 警察や防犯協会等関係団体との連携による防犯対策の推進 ○ 青色回転灯車両による防犯パトロールの実施 	
<p>熊等の野生動物に対する安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊等の出没時における警戒や被害の防止、回避のための啓発 	
<p>危機管理態勢の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民保護計画に基づく市民への啓発、訓練等の実施 ○ 避難実施要領の作成 	
<p>空家等の発生抑制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な管理が行われていない空家所有者への指導と安全対策、有効活用の検討 	

【災害に強いまちづくりの推進】

具体的な施策	内 容	担当課
治山・治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関との連携による、土砂災害や水害危険個所の把握と監視 ○ 治山、治水、砂防等の防災事業の推進による、安心・安全な地域づくり 	建設課
中心市街地の雨水排水対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雨水渠等の整備による浸水被害の低減・解消 	
建物等の耐震化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅や指定緊急避難場所における施設の耐震診断と耐震化の推進 	
◎ 建築関係団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 震災時における建築関係団体との連携強化と事前訓練等の実施 	

【交通安全対策の推進】

具体的な施策	内 容	担当課
◎ 交通安全意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢階層に応じた交通安全教育による正しい知識の普及と意識の高揚 	市民課
交通安全施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県等関係機関と連携した交通安全施設の整備促進 	
市民協働による交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全協会、警察署等との連携による交通事故防止 ○ 県民交通災害共済への加入促進 ○ 交通事故が増加している高齢者の運転免許の自主返納支援の拡充 	
◎ 交通指導員等人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通指導員、交通安全推進員の育成 	

【消費生活相談の充実】

具体的な施策	内 容	担当課
消費者の保護	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商品やサービスなどの契約に関する正しい消費者知識の普及と、消費者トラブルに対する意識の高揚 ○ 消費生活相談窓口の充実と適切な指導助言 	市民課
◎ 消費者教育・啓発及び相談態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年齢階層に応じた消費生活に関する情報提供や出前講座などの啓発の推進 ○ 消費生活相談員の育成 	

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	備 考
消防団員数	694 人	710 人	4月1日現在
自主防災会設置率	90.7 %	95 %	
火災発生件数	7 件	5 件	
犯罪発生件数	209 件	180 件	
交通事故件数	105 件	95 件	
特殊詐欺被害件数 (市内)	3 件	0 件	

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
地震や風水害など防災対策に満足していると思う市民の割合	55.6 %	60 %
消防・救急体制に満足していると思う市民の割合	73.0 %	75 %

○関連する個別計画

大町市地域防災計画、大町市耐震改修促進計画、大町市空家等対策計画
